



漁業調査指導船

江の島丸コラム

新人紹介

皆様、初めまして。

平成 31 年 3 月 1 日付けで水産技術センター船舶課、江の島丸の甲板部に配属となりました。横浜生まれ横浜育ち 34 歳、加々美雄也です。平成 31 年 2 月まで、他の船舶会社に勤務し東京湾内を航行するコンテナ運搬船の船長及び一等航海士をしていました。



江の島丸では、以前乗船していた船と違い、初めて見る調査の為の機器や漁具が沢山あり、また、船橋内では計器類の多さに圧倒されました。

しかし、船長をはじめ甲板員の方々だけではなく、機関員の方々、通信長、司厨長、乗組員全員が優しく丁寧に指導してくれています。

江の島丸の調査として毎月行う海洋観測があり、専用の機器を使い決められたポイント全41点で各水深の水温、酸素用、塩分濃度の測定、また海水の透明度やプランクトンの採取を行っています。



(S T D観測作業)

また漁業資源調査では、サバ、ムツ、金目ダイなどを獲る漁労作業あります。まず初めにサバの資源調査です。何もかもが初めてなので緊張していますが、魚を採る事が好きなので楽しみにしています。



(金目鯛幼魚調査用の漁具作製)

いよいよ調査が始まってみると、船には慣れていたつもりでしたが、相模湾は東京湾内と違い波が高く、船がものすごく揺れました。その荒波の中で先輩方はテキパキと調査作業をこなしているのに、私は甲板から海に落ちないように必死に足に力を入れ踏ん張っているという情けない姿を晒してしまいました。

2日目も引き継ぎ調査でした。初日みたいにならぬよう、先輩方の動きをよく観察し無駄な力を入れず作業をこなすことを心掛け、初日より先輩方の調査作業の手伝いができる様になりました。

まだまだ未熟ですが、一日でも早く戦力となれる様頑張り、神奈川県の水産業に少しでも尽力出来る様、職務に励んで行きたいと思えます。

どうぞよろしくお願い致します。